

第26回食と文化フォーラム

レバンガ北海道代表取締役社長 折茂武彦氏 特別講演

2016年、日本でもようやくバスケットボールのプロ化がスタートしました。今、レバンガ北海道を含むB1からB3まで合わせると40以上のチームが存在しています。その中で僕は27年現役を続け、49歳で引退しました。今日は僕のバスケット人生についてお話しします。

プロバスケット選手にはどんな価値があるのか。結果を出すのは当たり前、プラスアルファとしていかに人が求められるか、ここが重要です。

スポーツビジネスではチケット販売が6割を占め、非常に大切です。人が求める選手がいれば、彼を見たくて観客が来る、グッズを買う、試合を見て喜び、また会場に来てくれる。この循環を生み出るのが本当のプロ選手だと思います。

この講演を見てください。自分が選手としている方のほとんどは僕のことをご存じかと思います。北海道に来て16年、いろんなイベントに参加して積極的に地域活動を続けてきました。だからみんな僕のことを知つてくださり、僕が出席した最後のオールスター戦はわずか自分でチケットが完売しました。これが選手としての僕の価値です。

でもレバンガ北海道で顔と名前がある伸びない原因でもある選手はどのくらいいると思います。だから僕は地域の活動を行ってもらっています。写真1。例えば小学校に行つてバスケットを教えた子どもはその選手のファンになつてくれ



写真1 地域の小学生と交流するレバンガ北海道の寺園脩斗選手—レバンガ北海道提供



写真やスライドを表示しながらオンラインで講演する折茂武彦氏—食と健康財団提供

やり続ける情熱、継続、覚悟

講演するレバンガ北海道代表取締役社長の折茂武彦さん

ます。親に試合を見に来たいと頼んで、一緒に来場してくれる。地道な活動が重要なです。

僕は多くの一流アスリートと会いましたが、皆特別なことをやっていたわけじゃありませんでした。代償を嫌いです。日本代表に選ばれたり、中学からバスケットを始めた足も速いなど、運営や子供たちも日々の練習を立ち上げた時、いずれも無理と言いました。今の若い選手や子供たちも日々の練習が立ち上がりません。大事なのは一つのことをやり続けられる。どうやったらいつも必ず上位にいることが多いです。

僕は「無理」「無駄」という言葉が大いに基礎練習などはついていました。そこで何かを追求するためには代償犠牲が伴うことへの覚悟が必要です。例えば僕は北海道に来て16年、ずっと単身で生活していました。ほんの子育てができてからと思いません。だから僕は地域活動を続けています。だから僕が出席してくださり、僕が出席してくださる。これが選手としての僕の価値です。

長い間、僕は地域の活動を行つてきました。だから僕は地域の活動を行つてもらっています。写真1。例えば小学校に行つてバスケットを教えた子どもはその選手のファンになつてくれ

る。長い間、僕は地域の活動を行つてきました。だから僕は地域の活動を行つてもらっています。写真1。例えば小学校に行つてバスケットを教えた子どもはその選手のファンになつてくれ

た。長きにわたり日本が誇るナンバーワンショーターとして活躍する中で、レバンガ北海道を創設。異例の選手兼社長として歩んだ実体験をもとに、失敗からの学びや自分自身をマネジメントすることの大切さなどについて講演しました。

フォーラムの第2部では、レバンガ北海道代表取締役社長、折茂武彦による特別講演。我がバスケットボール人生が行われました。長きにわたり日本が誇るナンバーワンショーターとして活躍する中で、レバンガ北海道を創設。異例の選手兼社長として歩んだ実体験をもとに、失敗からの学びや自分自身をマネジメントすることの大切さなどについて講演しました。

2016年、日本でもようやくバスケットボールのプロ化がスタートしました。今、レバンガ北海道を含むB1からB3まで合わせると40以上のチームが存在しています。その中で僕は27年現役を続け、49歳で引退しました。今日は僕のバスケット人生についてお話しします。

プロバスケット選手にはどんな価値があるのか。結果を出すのは当然です。結果を出すのは当然です。

結果を出すのは当然です。

結果